

I 第17週の発生動向 (2017/4/24~2017/4/30)

1. 警報・注意報は発令されていません。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び咽頭結膜熱については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の平均を上回る状況が続いています。特に、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、3週続けて報告数が増加していますので、今後の発生動向に十分注意が必要です。
3. 感染性胃腸炎については、むつ保健所を除く保健所管内で、定点当たり報告数が増加しましたので、今後の発生動向に注意が必要です。
4. 水痘については、上十三保健所とむつ保健所を除く保健所管内で、定点当たり報告数が増加しましたので、今後の発生動向に注意が必要です。
5. インフルエンザについては、迅速診断キットによる型別報告数が、A型は前週の約半数に減少しましたが、B型はほぼ横ばいにとどまっています。

II 第17週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東地方保健所+青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方保健所+八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科	インフルエンザ	39	3.00	36	2.40	36	2.40	28	4.00	24	2.67	15	2.50	178	2.74	-69
小児科	RSウイルス感染症							6	1.20					6	0.14	0
	咽頭結膜熱	1	0.13	4	0.44	6	0.60	2	0.40	1	0.17			14	0.33	-1
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	20	2.50	26	2.89	34	3.40	3	0.60	4	0.67	12	3.00	99	2.36	4
	感染性胃腸炎	66	8.25	29	3.22	50	5.00	52	10.40	21	3.50	10	2.50	228	5.43	53
	水痘	8	1.00	1	0.11	2	0.20	7	1.40					18	0.43	9
	手足口病					1	0.10							1	0.02	-10
	伝染性紅斑	3	0.38			1	0.10			1	0.17			5	0.12	-1
	突発性発しん	6	0.75	2	0.22	5	0.50	2	0.40	3	0.50	2	0.50	20	0.48	-10
	百日咳															0
	ヘルパンギーナ					1	0.10							1	0.02	-2
流行性耳下腺炎											6	1.50	6	0.14	-6	
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎															0
基幹	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎					1	1.00					1	1.00	2	0.33	2
	マイコプラズマ肺炎					1	1.00					4	4.00	5	0.83	4
	無菌性髄膜炎															0
	感染性胃腸炎(ロタ4株)							3	3.00	1	1.00	3	3.00	7	1.17	5

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

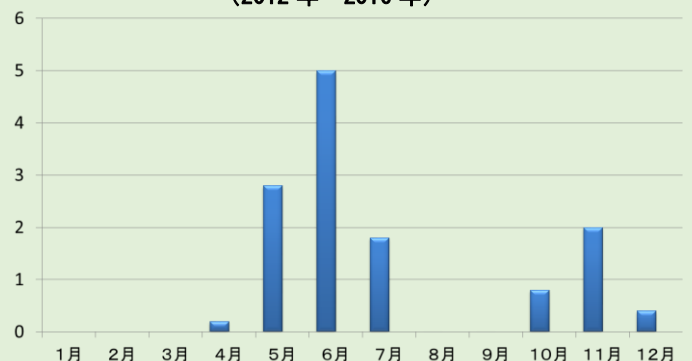
つつが虫病(四類全数把握疾患)

つつが虫病は、病原体のオリエンティア・ツツガムシを保有するツツガムシ(ダニの一種)の幼虫に刺されて感染します。青森県内では、例年、春~初夏(5月~7月)と秋~初冬(10月~12月)に患者が報告されています(図)。

ツツガムシに刺されて、5~14日の潜伏期の後に、発熱、全身倦怠感、頭痛、発疹、リンパ節腫脹などを発症します。多くは皮膚に刺し口が見られ、これを発見することが診断の重要な手掛かりになります。特に、発熱、刺し口、発疹は主要3徴候とよばれ、およそ90%以上の患者にみられます。

予防に利用可能なワクチンはないため、ダニの吸着を防ぐことが最も重要です。予防のためには、山林、草むら等に立ち入る時にツツガムシに刺されないよう服装に注意し、帰宅後は入浴してよく洗い流し、虫に刺された跡がないか確認しましょう。また、山林などへ立ち入った後14日以内に、いずれかの症状が現れた場合は、早めに医療機関を受診することが大切です。受信の際は、野外での活動について詳しく報告しましょう。

青森県のつつが虫病 月別報告数(過去5年平均)(2012年~2016年)



Ⅲ 全数把握疾患

- ・結核(二類全数把握疾患)：青森市2人、弘前1人、三戸地方3人 (2017年計:102人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患)：上十三1人 (2017年計:5人)
- ・E型肝炎(四類全数把握疾患)：弘前1人 (2017年計:4人)
- ・梅毒(五類全数把握疾患)：弘前2人 (2017年計:25人)

Ⅳ 病原体検出情報

報告はありませんでした

Ⅴ 県内インフルエンザ情報 (2016年第52週～2017年第17週)

- ・第17週の患者報告数は178人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは167人【A型：67人、B型：100人】でした。

保健所管内別報告数(人)

週	52	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
東地方+青森市	24	72	99	193	244	370	435	372	336	294	151	100	70	58	53	62	31	39
弘前	37	63	128	211	370	336	290	183	111	123	153	152	120	103	93	56	47	36
三戸地方+八戸市	55	45	74	176	363	412	384	287	209	219	205	122	71	84	72	56	68	36
五所川原	115	90	143	138	143	160	223	127	55	52	52	80	97	67	33	34	40	28
上十三	74	149	164	229	343	330	346	278	189	133	124	160	156	178	55	26	28	24
むつ	41	47	35	81	189	335	284	255	177	157	125	67	27	27	24	21	33	15
合計	346	466	643	1028	1652	1943	1962	1502	1077	978	810	681	541	517	330	255	247	178

A型(迅速診断キットによる型別)(人)

週	52	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
東地方+青森市	24	68	94	186	232	365	427	362	322	290	146	96	64	51	47	48	25	21
弘前	37	63	127	211	370	336	289	183	111	122	152	146	115	97	77	42	31	24
三戸地方+八戸市	54	44	73	168	333	362	364	268	201	212	195	114	63	64	54	21	23	4
五所川原	115	89	143	138	143	160	223	127	55	51	52	80	96	65	27	14	18	4
上十三	74	148	158	206	325	311	326	251	172	111	112	145	140	160	43	18	17	8
むつ	39	47	34	81	189	334	282	255	177	152	123	63	25	16	22	20	25	6
合計	343	459	629	990	1592	1868	1911	1446	1038	938	780	644	503	453	270	163	139	67

B型(迅速診断キットによる型別)(人)

週	52	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
東地方+青森市		2		3	1	1	1		2		2	2	4	4	6	14	6	18
弘前							1			1	1	6	5	15	16	14	16	12
三戸地方+八戸市	1		1	5	7	20	5	5	4		6	4	7	15	18	33	45	29
五所川原		1								1			1	2	6	20	22	24
上十三		1	1	6	1	3	3	5	10	11	4	9	7	12	7	7	7	8
むつ	2		1			1	2			5	2	4	2	11	2	1	8	9
合計	3	4	3	14	9	25	12	10	16	18	15	25	26	59	55	89	104	100

年齢区分別(人)

週	52	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
～5ヶ月	2	2	2	4	5	6	4	3	3	5	2	3	1	2	3		1	
～11ヶ月		7	6	13	9	15	15	18	10	4	7	10	9	6	9	5	1	2
1歳	5	6	18	35	42	62	64	49	44	32	12	41	14	15	14	13	10	5
2歳	6	14	20	27	39	46	87	59	39	33	22	25	16	25	19	18	19	4
3歳	7	11	21	51	53	77	99	73	48	52	31	36	15	33	20	13	11	3
4歳	3	7	25	36	65	83	81	80	60	37	52	29	26	40	18	27	21	11
5歳	14	13	22	40	77	68	83	69	72	53	33	30	23	37	30	22	15	11
6歳	8	8	23	42	47	92	84	82	81	47	52	37	23	21	16	9	11	6
7歳	4	13	11	35	78	83	98	68	32	50	23	43	21	20	6	10	17	16
8歳	9	6	8	38	80	93	94	83	46	38	27	23	21	24	10	11	14	9
9歳	7	6	9	46	85	96	95	80	53	48	44	29	15	19	6	8	10	6
10～14歳	57	32	49	157	428	475	431	257	189	194	135	103	80	60	25	21	23	34
15～19歳	29	32	40	97	162	152	115	75	46	66	48	34	29	17	14	8	9	7
20～29歳	44	58	67	59	56	67	93	81	43	30	38	28	19	24	15	11	9	8
30～39歳	30	61	64	88	104	117	108	90	75	59	57	54	55	30	32	13	15	10
40～49歳	29	50	53	62	90	124	123	82	60	50	52	41	40	35	15	13	8	11
50～59歳	23	44	59	58	71	78	95	86	65	54	38	24	28	29	24	18	16	11
60～69歳	23	44	50	46	55	90	78	72	47	45	54	35	31	30	21	13	12	7
70～79歳	20	23	48	38	51	66	49	41	24	37	37	21	39	26	11	12	9	5
80歳以上	26	29	48	56	55	53	66	54	40	44	46	35	36	24	22	10	16	12

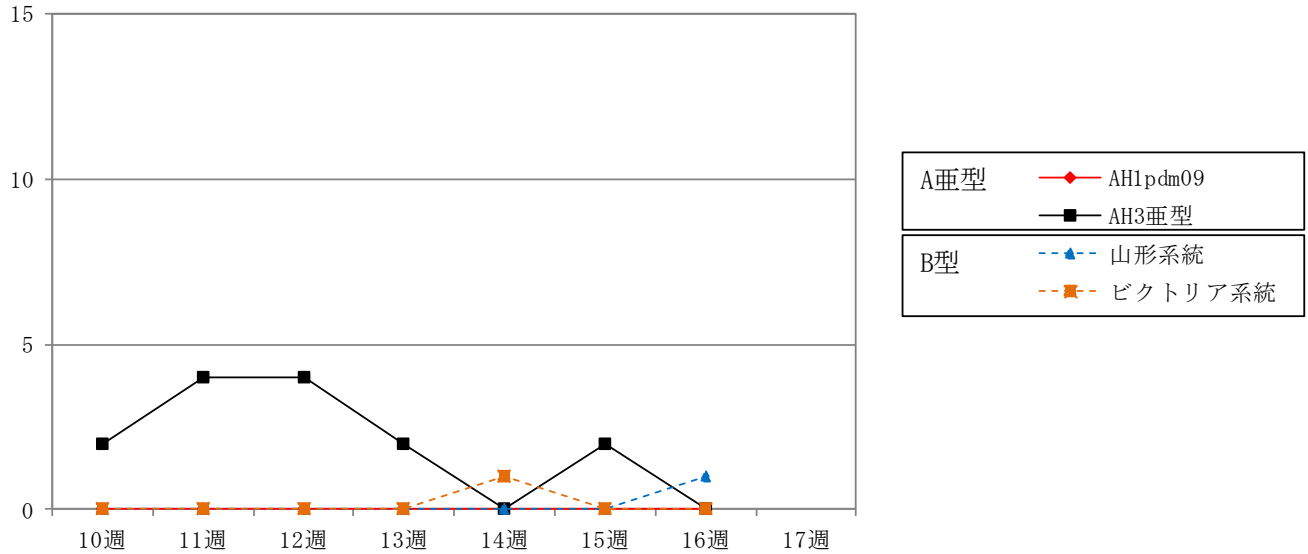
VI 県内インフルエンザウイルス検出状況（県が指定した医療機関（指定提出機関）の提出検体の検査結果）

インフルエンザウイルス		2017							直近5週間 合計	2016/2017 シーズン合 計	
		10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週			17週
提出検体数		2	5	6	3	1	2	1	1 (1)	8 (1)	85 (1)
A 亜型	AH1pdm09	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	AH3亜型	2	4	4	2	0	2	0	0	4	62
B 型	山形系統	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
	ビクトリア系統	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
合計		2	4	4	2	1	2	1	0	6	66

注1) 2016/2017シーズンは2016年第36週（9/5～9/11）～2017年第35週（8/26～9/3）

注2) 提出検体数の（ ）内の数は、現在検査中の検体数

件数 インフルエンザウイルス検出状況



VII 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2017年第14週～2017年第17週）

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
14	H29.4.3 ~ H29.4.9	E型肝炎1人	梅毒1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人		侵襲性肺球菌感染 症1人	
15	H29.4.10 ~ H29.4.16	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人 梅毒1人	梅毒2人	腸管出血性大腸菌 感染症1人 梅毒1人			
16	H29.4.17 ~ H29.4.23	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人				梅毒1人	
17	H29.4.24 ~ H29.4.30		E型肝炎1人 梅毒2人			腸管出血性大腸菌 感染症1人	

VIII 結核(二類全数把握疾患)（2017年第14週～2017年第17週） (人)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
14	H29.4.3 ~ H29.4.9		1				
15	H29.4.10 ~ H29.4.16		2				
16	H29.4.17 ~ H29.4.23	1	1	1	1	1	
17	H29.4.24 ~ H29.4.30	2	1	3			

IX 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2017年第16週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病	ジカウイルス感染症
累積報告数	6454	48	258	10	4	115	82	10	4	1

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症
累積報告数	2	1	41	61	7	1	1	10	1	353

分類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症
累積報告数	2	323	83	422	234	2	53	185	389	23

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん
累積報告数	118	9	1195	72	1397	48	16	28	26	146

分類	五類
疾病名	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	10

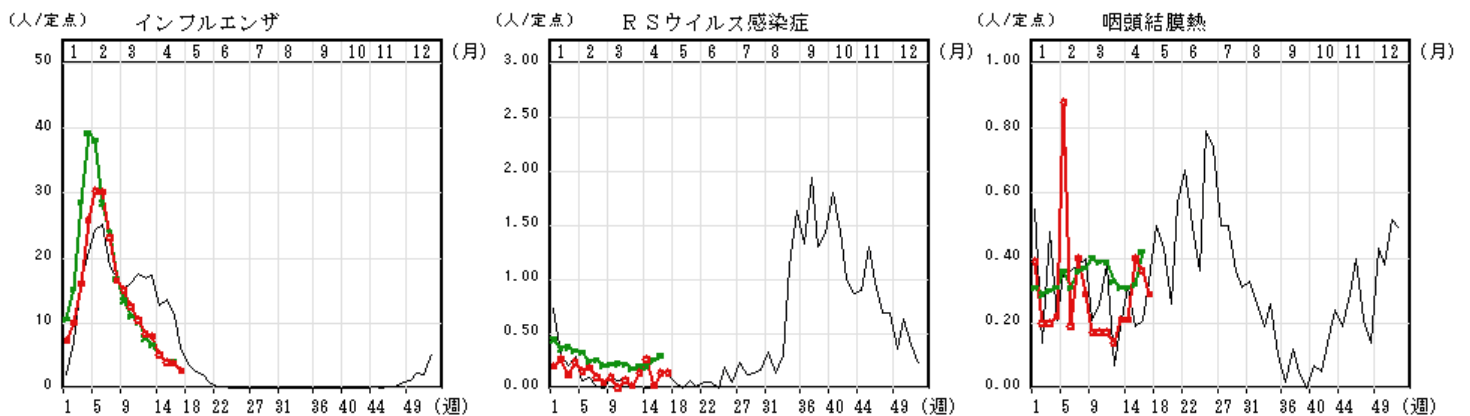
青森県（2017年第17週累計）

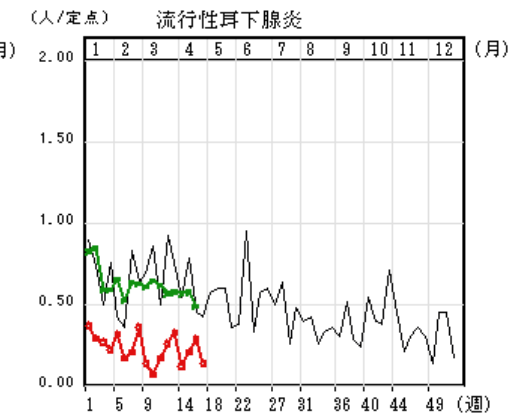
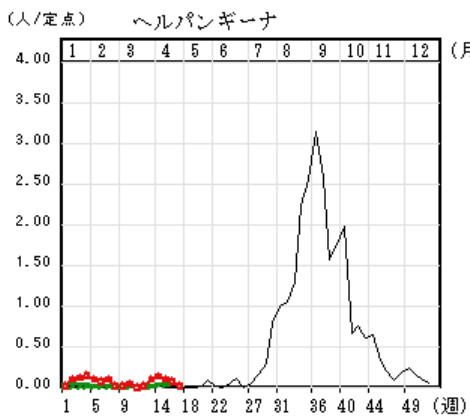
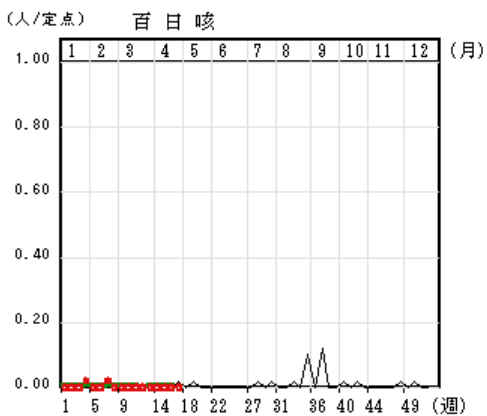
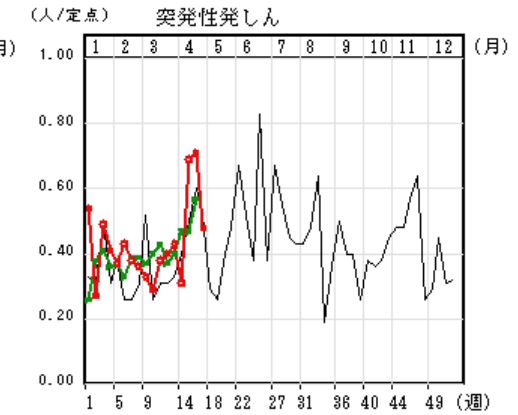
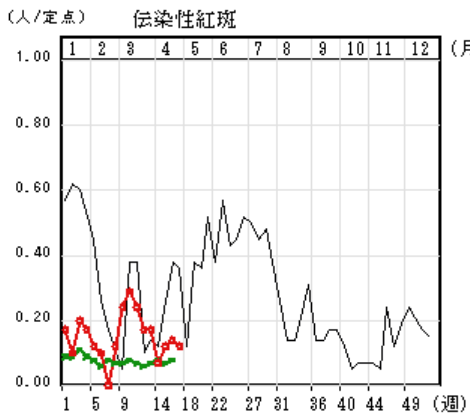
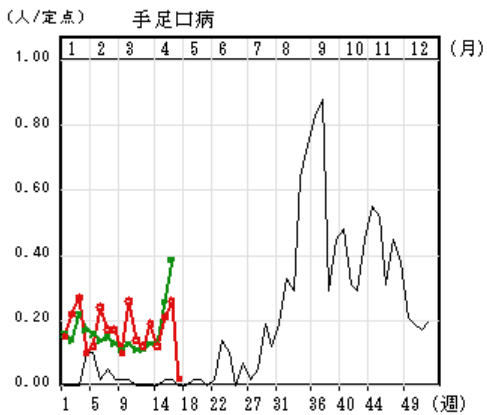
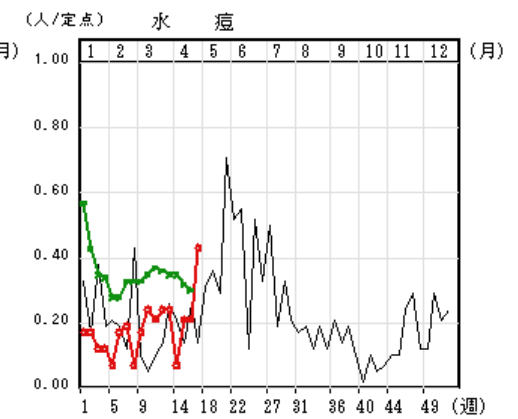
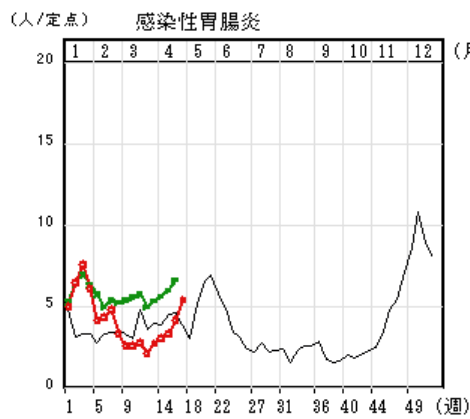
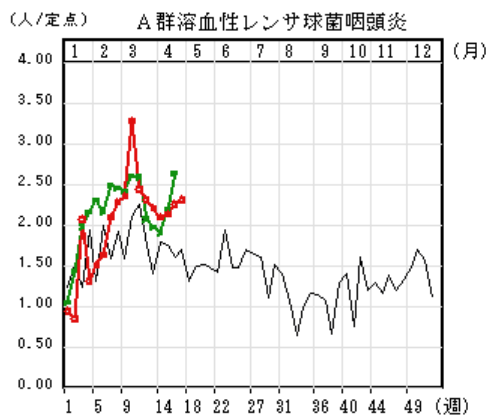
分類	二類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症
累積報告数	102	5	4	1	3	2	6	1	1	1	3

分類	五類
疾病名	梅毒
累積報告数	25

X インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移（2017年第17週、ただし全国は前週）

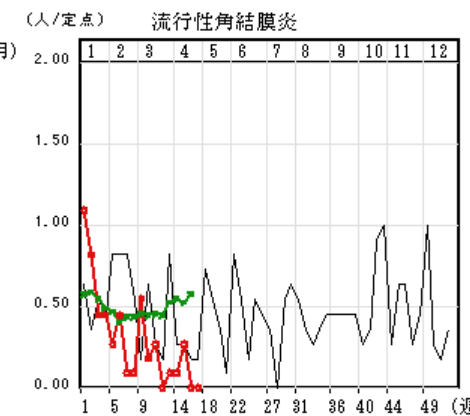
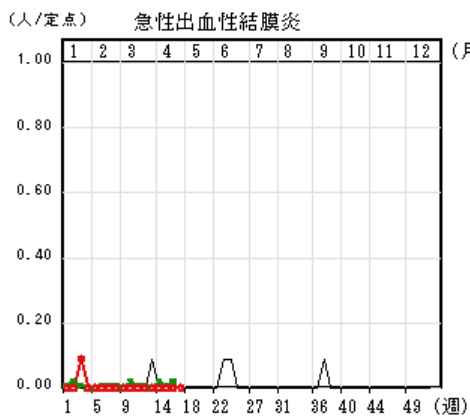
グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、×—×は2017年全国





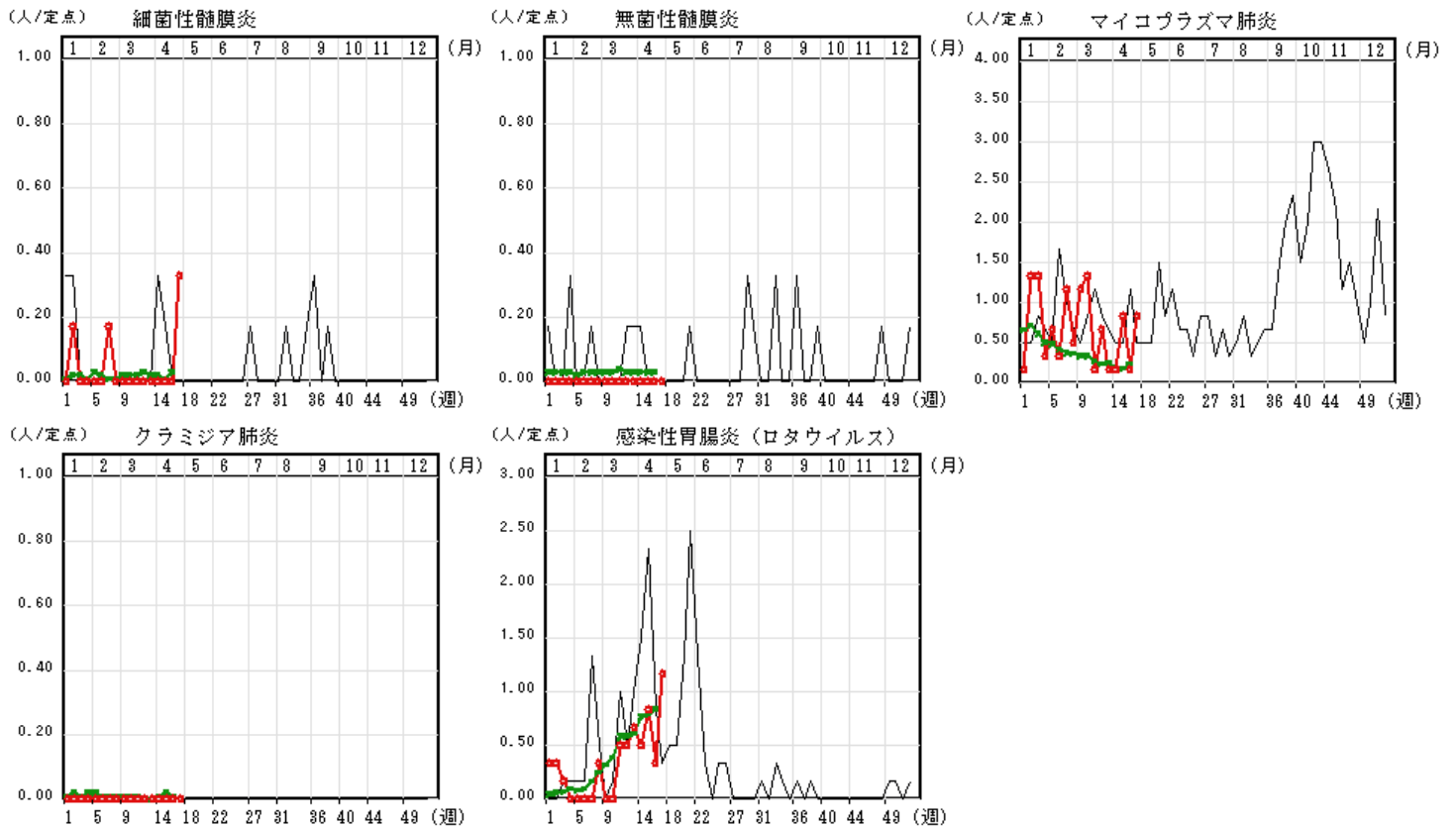
XI 眼科定点把握疾患週別推移 (2017年第17週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、 ×—×は2017年全国



XII 基幹定点把握疾患週別推移（2017年第17週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、 ×—×は2017年全国



XIII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成29年第17週

報告はありませんでした。

平成29年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月					計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13週	14週	15週	16週	17週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	発症者数	0	12	0	0	0	0	0	0	12
児童・婦人関係施設等	件数	1	2	1	0	0	0	0	0	4
	発症者数	13	48	14	0	0	0	0	0	75
障害関係施設	件数	0	1	0	1	0	0	0	0	2
	発症者数	0	43	0	38	0	0	0	0	81
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	1	4	1	1	0	0	0	0	7
	発症者数	13	103	14	38	0	0	0	0	168